



PacBioのHiFiリードは、平均10～25 kbの長鎖と99.9%以上の高精度を兼ね備えた次世代シーケンシング技術です。従来の短鎖リードでは検出困難だった構造変異やリピート配列を高精度に捉えることができ、希少疾患や小児難病、感染症領域でのゲノム解析に強みを発揮します。また、完全長トランスクリプトーム解析(Iso-Seq)やメチル化を含むエピゲノム解析にも対応可能です。

本セミナーでは、国内代理店より講師の方をお招きし、HiFi技術の特長と最新動向を中心に、具体的な報告事例を交えてご紹介いただきます。さらに、ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)単一細胞ゲノム情報解析コア(SignAC)で提供しているPacBio社のロングリードシーケンサーを用いた受託解析の概要についてもご紹介いただきます。皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時：2026年2月4日(水) 15:00-16:00

開催形態：オンライン (Zoom)

講師：橋本 和明 (トミーデジタルバイオロジー株式会社  
アライアンスプロダクト プロダクトスペシャリスト)

言語：日本語

申込方法：以下のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/nQnvrLZ3yoc86CKU7>

締切：2026年2月3日(火) 13:00

※締め切り後、Zoom開催情報及びアンケートフォームへのリンクを申込者全員にメールでお知らせします。

備考：本セミナーは情報共有を目的として実施しております。今回のセミナーの中で紹介する機器は遺伝情報解析室では共用研究機器として公開はしていませんが、同じくiSALのASHBi SignACでPacBioのシーケンサーを用いた受託解析を提供しています。



申込